

授業科目名	バスケットボール		授業形態	実技	授業科目区分	専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	木葉 一総・三浦 健				補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	1	受け入れ人数	40名程度		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業は、ルール、ドリル、練習法について講義し、これらに基づきバスケットボール専攻学生がグループの中心となって実技指導を行う。</li> <li>・バスケットボールの基本技術とゲームの方法を学習する。</li> <li>・バスケットボールのドリルを通して、体の扱い方と時間空間の認知能力を高める。</li> </ul>							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
				授業期間		定期 試験	その他	割合 %
				授業	テスト	レポート	発表	
	■認知的領域	・バスケットボールの基本技術について、概ね説明することができる。	○					20
■情意的領域	・ドリルやゲームに主体的に取り組む。 ・ゲームにおいて、ルール・マナーを遵守し、安全を確保し、味方同士が助け合う。	○					30	
■技能的領域	・バスケットボールの基本技術をゆっくりならし範ができる。	○				○	50	
成績評価の基準	出席回数が2/3以上でない者は、単位を認定しない。							
テキスト、教材 参考書								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)	・基本技術のドリルの中には、授業時間だけでは身に付きにくいものも含まれるので、授業前後に復習することを勧めます。				
オフィス・アワー	随時：総合体育館教員室							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション。ボールハンドリングドリル。						
2	〃	Dynamic Stretch：動的柔軟性を高める。						
3	〃	ドリブルドリル：3種類のその場ドリブル、5種類のチェンジ。						
4	〃	2つのボールへの対処：5種類のドリブル、ボール2個の直上連続パス。						
5	〃	開放性スキルと閉鎖性スキル：観察・判断・選択が球技では鍵を握る。						
6	〃	ストップ&ピボット：足さばき、目さばき、手さばき。①前向き前回り&前向き後回り。						
7	〃	ストップ&ピボット：足さばき、目さばき、手さばき。①後向き前回り&後向き後回り。						
8	〃	シュートドリル：レイアップシュート、ストップシュート、フリースロー。						
9	〃	ゲーム前の練習法①：スクエアパス。						
10	〃	ゲーム前の練習法②：ドリブルシュート。						
11	〃	ゲーム前の練習法③：ランニングシュート。						
12	〃	ボディコントロールを高めるドリル：ボールを体側で回して、足を通してレイアップシュート。						
13	〃	フリースローのグループドリル：ノックダウン。						
14	〃	ハーフコート 3on3						
15	〃	実技試験の為の練習。						
16	木葉 一総	実技試験						